

全國の勞働者諸君に訴ふ

親愛なる全國の勞働者諸君！ 新潟鐵工所月島、蒲田兩分工所爭議は、五十餘日に及んで今尙解決を見ません。今日まで爭議團は誠意を以て幾度か會社に會見交渉を要求しましたが、會社は言を左右にして飽くまで交渉を回避して居ます。而して去る十四日の會社事務所硝子戸破壊事件のために、吾等の同志百十數名は檢舉せられ、五十餘名は騷擾罪で起訴され、東京監獄に收監せらるゝに至りました。之を見て會社は爭議團の降服を豫期し、吾等の要求全部を拒絶し二十日から工場を開くに至りました。然しながら爭議團は直ちに陣容を整へ、總同盟全國の同志の應援を得て、一人の裏切者なく結束は益々固く奮闘をつめてゐます。

全國の勞働者諸君！ 戦ひは將に二ヶ月に亘らんとしてゐます、吾等の家族は餓死に迫られてゐます。官憲の壓迫は日に激甚を加へて居ます。然しながら吾等爭議團六百の心は既に決してゐます。資本家の暴虐勝つか、吾等勞働者の正義が勝利を得るか、餓死か突進か、吾等は組合旗を擁して、最後の一人となるまで戦ふの覺悟を有してゐます。吾等は今最後の決戦の陣頭に立つにあつて、切に全國の勞働者諸君の應援を願ふてやまぬものであります。

親愛なる全國の同志諸君！ 吾等の同志五十餘名は既に東京監獄に收監せられました。彼等の家庭には病床に臥す妻あり、飢えに泣く幼な子があります。吾等は獄中の苦熱に惱まされつゝある同志の身の上を偲び、藥を求めて得ず、パンをもとめて得る能はざる其の家族の慘狀を思ふ時、斷腸の思ひに堪えません。然しながら爭議は今將に酣でありませぬ。吾等は獄中の同志の犠牲を無意義ならしめざるために、全力を擧げて資本家に肉迫しつゝあります。願くば全國の同志諸君、一片のパン、一椀の飯を節して、此の犠牲者の家族の慘狀を救はれん事を、吾等は切望してやまぬ次第であります。

全國の勞働者同志諸君！ 吾等は茲に資本家に對する反抗の焰を胸に燃やし犠牲者の家族に對する同情の涙を浮べつゝ、諸君の熱情ある聲援と同情に訴へるものであります。

(同情金は左記宛に)

新潟鐵工所爭議團 本部

大正十二年八月廿一日

東京府下蒲田新宿三六四

總同盟關東勞働同盟會

東京府下大崎町居木橋一四八

日本勞働總同盟本部

東京市芝區三田四國町二